

未来ノート

-202Xの君へ-

サッカー

しみず り さ
清水梨紗

原点は公園遊び

あんた天才やね

学校生活が第一

トイレ交換日記

駆け回る 骨折お構いなし

専門の右サイドで、自陣攻撃参加する。

深くで守備をしていたかと
思えば、ポニーテールを揺
らして敵陣へ駆け上がった「なでしこジャパン」のD
F清水梨紗(24)は日テレの
自慢は、周囲に「異常だ」と
言われるほどの走力。速さも
量も日本トップレベルだ。2019
年女子ワールドカップでは日本
の全4試合にフル出場し、16
強入りに貢献した。そのスタミ
ナ理由を尋ねたら、少し考えて言った。
「小さいころ、ずっと公園で遊
んでいたのだから、そういうの
もあるのかな」幼いころは、神戸市で育った。
幼稚園が終われば、友達と公園
に行くのが当たり前。遊具で遊
んだり、鬼ごっこしたり。母、都
さん(54)にとっては、連れて帰
るのも一苦労だった。「家なん
て食べて、寝るだけって感じ。
ほとんど公園ですね。外で育
った」越してからも、それは変わらな
かった。週末も、サッカーの練
習や試合が終われば、向かうの
は公園だった。「集まった子でサ
ッカーし、鬼ごっこしたり。外
で跳んだりねたりしているから、
ケガも多かった。転んで腕の骨
を折ったのは数回。でも、足が動
けば、お構いなし。小学4年の
とき、友達に誘われて横浜市
内であった自由参加のマラソン
大会に腕に包帯をしたまま出て、
優勝した。都さんは笑って振り
返る。「380何番ぐらいのエン
トリーです。すごい後ろから出
発したのに、一番で帰ってきた。
しかも、片手骨折して。めっちゃ
すごいな、この子って思った」

- ① 遊具で遊ぶ幼少期の清水梨紗＝家族提供
② 2019年女子ワールドカップで日本代表としてプレーした清水

外遊びが関係している。2歳上の姉と共に、遊んでもらっていた年上の子たちが、女子サッカーチームに入っていた。誘われて練習に参加した姉にくっついていった。小学1年になって正式にチームに入った。小学2年

で横浜市に引っ

(勝負社史)

◆「未来ノート」スクラップブックは、全国のASA(朝日新聞販売所)でお配りしています。インターネットの特設ページではイベントやスクラップブックについて詳しく紹介しています。「未来ノート 朝日新聞」で検索してください。